

平成 29 年度
石垣市教育事務点検評価報告書
(平成 28 年度事業対象)

平成 29 年 11 月
石垣市教育委員会

石垣市教育事務点検評価報告書の議会への提出及び公表について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条の規定に基づき、平成 28 年度における教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検評価を行い、教育に関する学識経験者の意見を付して報告します。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

- 第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。
- 2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。



外部評価委員による各課ヒアリングの様子

目次

はじめに	1
<参考>平成 28 年度 石垣市教育委員会教育主要施策体系	2
1 教育委員会の活動	3
<資料>平成 28 年度 教育委員会活動状況一覧表	4
平成 28 年度 教育委員会会議開催状況一覧表	5
2 教育事務点検評価	
平成 29 年度 教育事務（平成 28 年度事業）点検評価結果一覧表	9
ストレスチェック	10
いじめ問題対策費	11
児童生徒援助費	12
学校図書館図書整備費（小中）	13
浄化槽水質検査費（幼小中）	14
特別支援教育支援事業	15
情報教育充実事業	16
教員採用試験対策事業	17
冠鷲プロジェクト（地域・家庭支援事業）	18
青少年生活指導事業	19
石垣市小学生・中学生国内外交流事業	20
史跡フルスト原遺跡保存修理費	21
舟蔵第二貝塚発掘調査事業	22
いしがきの原風景写真等デジタル化事業	23
喜舎場永珣資料調査事業	24
資料の収集整理	25
調理業務等民間委託業務	26
給食調理費	27
乳幼児期における読書環境の充実を図る事業（だっこ DE おはなし会）	28
耳学問の会	29
3 外部評価委員による総評	30
石垣市教育事務点検評価実施要綱	32
平成 29 年度 石垣市教育委員会組織機構図	34

はじめに

石垣市教育委員会では、①自ら学ぶ意欲を育て、学力向上を目指すとともに、創造性に富む幼児・児童・生徒を育成する。②平和で安らぎと活力ある社会の形成者として、郷土文化の継承・発展に寄与し、国際社会・情報社会等で活躍する心身ともに健全な市民を育成する。③学校・家庭・地域社会相互の連携及び協力のもと、時代の変化に対応し得る教育の方途を求め、生涯学習社会の実現を図る。を教育目標に教育行政を推進しています。

その目標を推進する施策として、平成 28 年度は 171 事業を予算計上し、教育委員会各課等において執行しました。その中から 20 事業を選定し、今年度の点検評価を行っています。

評価の方法は、各担当課が事業執行概要等を評価シートとして作成し、点検評価委員会で内容等を点検しました。その後、学識経験者で構成される外部評価委員による各課ヒアリングを実施し、事業ごとに評価を付していただきました。その結果、外部評価委員から 20 事業中 18 事業が計画通り又は計画以上に執行されているという評価を受けました。

しかし、評価の中身においては、多くの事業で様々なご指摘とご提言をいただいております。これらの貴重なご意見を真摯に受け止め、今後の教育行政の推進に反映させるよう努めてまいります。

この報告書は、評価の結果と教育委員会の活動状況をまとめ、議会に提出するとともに、公表することで市民への説明責任を果たし、教育行政の質の向上を図ることを目的に作成したものです。

今後とも市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

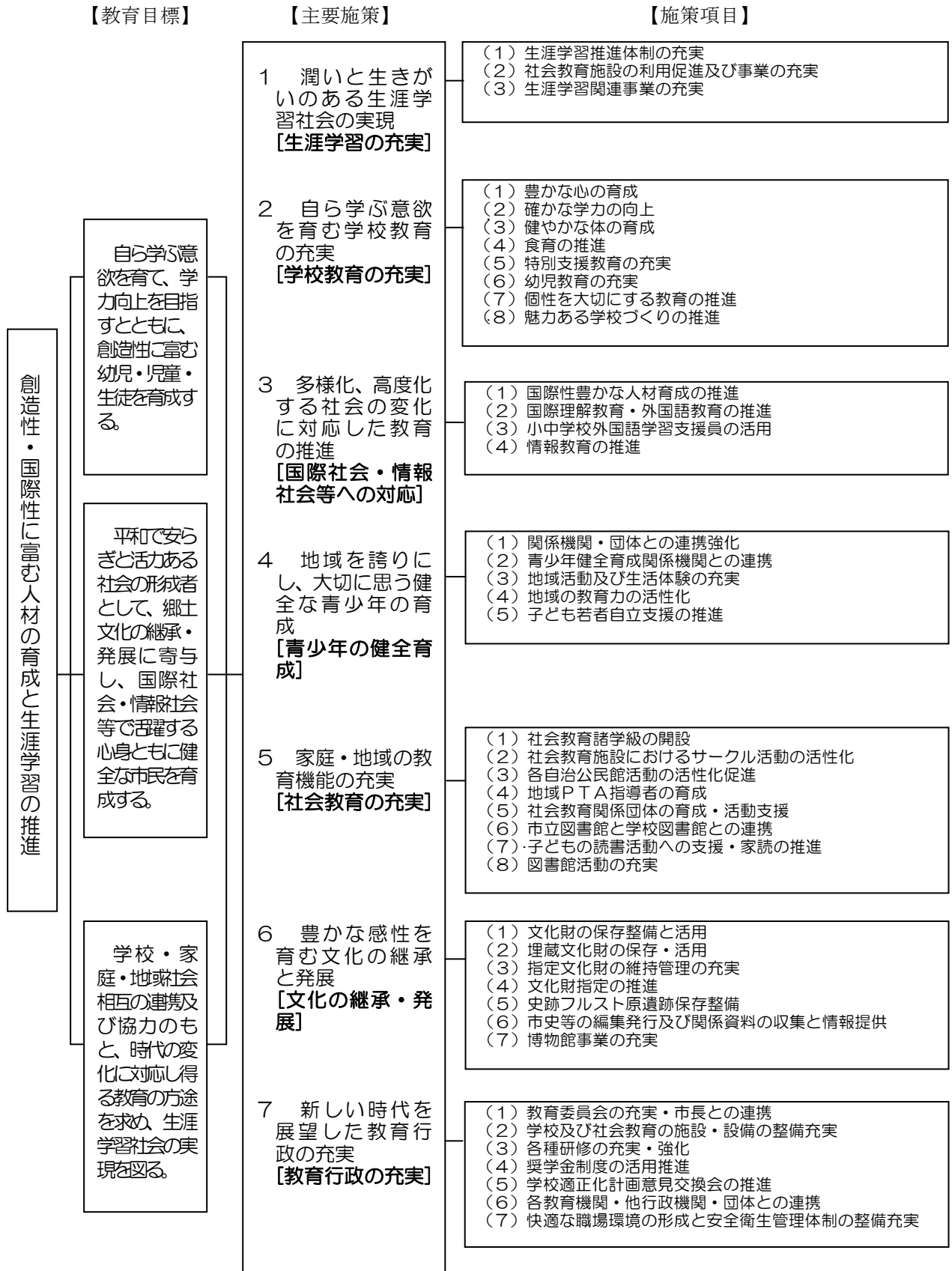
石垣市教育委員会教育長及び教育委員名簿（平成 29 年 11 月 1 日現在）

職名	氏名	任期	備考
教育長	石垣 安志	平成 28 年 4 月 1 日～ 平成 31 年 3 月 31 日	
教育長職務代理者	高里 正明	平成 25 年 12 月 19 日～ 平成 29 年 12 月 18 日	
委員	仲大盛 秀彦	平成 25 年 12 月 19 日～ 平成 29 年 12 月 18 日	
委員	新田 健夫	平成 27 年 4 月 1 日～ 平成 31 年 3 月 31 日	
委員	金城 綾子	平成 29 年 4 月 1 日～ 平成 33 年 3 月 31 日	

学識経験者（教育事務点検評価外部評価委員）

氏名	備考
知念 修	元石垣市部長
宜野座 愛子	元石垣市立小学校長

平成28年度 石垣市教育委員会教育主要施策体系



1 教育委員会の活動

(1) 教育委員会の会議等の状況

石垣市教育委員会においては、毎月1回以上の教育委員会の会議を開催し、事務局と連携しながら施策を推進してきました。

教育委員会の会議は、原則として毎月第4金曜日に「定例会」を、必要に応じて「臨時会」を開催しています。平成28年度は定例会12回、臨時会1回の計13回の会議を開催しました。

また、沖縄県市町村教育委員会連合会や八重山地区市町教育委員会協議会の総会・研修会等に参加し、他市町村の教育委員と意見交換を行い、教育委員会が直面する課題等について情報を共有し、教育行政について研鑽を積むことができました。

(2) 審議状況

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第25条及び石垣市教育委員会の権限に属する事務の一部委任等に関する規則第2条の規定に基づき、計76件の議案を審議しました。

(3) その他の活動状況

行事・大会等への参加

- ・管外転入教職員激励会
- ・市立小中学校 入学式・卒業式
- ・市立小中学校 運動会・学習発表会・研究発表会等
- ・市立幼小中学校訪問 授業・校内視察及び意見交換
- ・市立教育研究所 入所式・研究成果報告会
- ・石垣市成人式
- ・いしがき教育の日
- ・石垣市生涯学習フェスティバル
- ・石垣市自治公民館研究大会
- ・市主催行事（市制施行記念式典、石垣島まつり、石垣島マラソン等）



学校訪問意見交換の様子



学校訪問授業視察の様子

<資料>

平成 28 年度 教育委員会活動状況一覧表

月	会議		その他の活動
	教育委員会	その他	
4 月	○定例会		○管外転入教職員激励会 ○各小中学校入学式
5 月	○定例会	○八重山地区市町教育委員会協議会全体会 ○沖縄県市町村教育委員会連合会定期総会並びに研修会（那覇市）	
6 月	○定例会		
7 月	○定例会	○沖縄県都市教育長協議会（那覇市）	○石垣市制施行 69 周年記念式典
8 月	○定例会		
9 月	○定例会		
10 月	○定例会	○九州都市教育長協議会定期総会並びに研究大会（久留米市） ○沖縄県都市教育長協議会（浦添市）	○教育研究所平成 28 年度後期入所式 ○学校訪問（白保中） ○学校訪問（登野城小・おおかわ幼・やえやま幼）
11 月	○定例会	○八重山地区市町教育委員会協議会研修会（竹富町）	○石垣島まつり ○学校訪問（崎枝小・中） ○学校訪問（明石小・あかし幼）
12 月	○定例会		
1 月	○定例会	○沖縄県市町村教育委員会連合会理事会（那覇市） ○沖縄県都市教育長協議会（糸満市）	○石垣市成人式 ○市立幼稚園に係る地域意見交換会（名蔵小中）（川原小）
2 月	○定例会 ○臨時会	○沖縄県市町村教育委員会委員・教育長研修会（那覇市）	○市立幼稚園に係る地域意見交換会（平久保小） ○いしがき教育の日 ○石垣市生涯学習フェスティバル ○学校訪問（新川小・あらかわ幼）
3 月	○定例会		○石垣市自治公民館研究大会 ○教育研究所平成 28 年度後期研究成果報告会・修了式 ○各小中学校卒業式

平成 28 年度 教育委員会会議開催状況一覧表

区分	開催回数	付議件数	主な内容
定例会	12 回	75 件	<ul style="list-style-type: none"> ・教育に関する基本的な方針に関すること。 ・規則、規程、要綱等の制定改廃に関すること。 ・教育委員会事務局、教育機関の人事(幼稚園、小中学校含む)に関すること。 ・教育予算に関すること。 ・附属機関等の委員の任命・委嘱に関すること。
臨時会	1 回	1 件	
合計	13 回	76 件	

開催回数	開催日	議案番号	議案名	摘要
第 1 回 定例会	4 月 22 日	議案第 1 号	石垣市教育委員会の権限に属する事務の一部委任等に関する規則の一部を改正する規則について	原案可決
		議案第 2 号	大濱信泉記念館設置条例施行規則の一部を改正する規則について	原案可決
		議案第 3 号	石垣市子ども・若者支援地域協議会設置要綱の一部を改正する要綱について	原案可決
		議案第 4 号	石垣市幼稚園保育料に関する条例の議会提出の承認を求めることについて	承認
		議案第 5 号	石垣市社会教育委員の委嘱の承認を求めることについて	承認
第 2 回 定例会	5 月 31 日	議案第 6 号	平成 28 年度石垣市教育委員会教育主要施策体系の承認を求めることについて	承認
		議案第 7 号	石垣市就学援助規則の一部を改正する規則について	原案可決
		議案第 8 号	石垣市立小学校及び中学校管理規則の一部を改正する規則について	原案可決
		議案第 9 号	石垣市立小中学校学校事務連携室運営要綱の制定について	原案可決
		議案第 10 号	石垣市立石垣小学校校舎建替事業基本計画検討委員会設置要綱の一部を改正する要綱について	修正可決
		議案第 11 号	石垣市学校 ICT 支援員派遣事業実施要綱の一部を改正する要綱について	原案可決
		議案第 12 号	平成 28 年度石垣市一般会計補正予算(第 1 号)案提出の承認を求めることについて	承認
		議案第 13 号	臨時代理の承認を求めることについて(石垣市学びの基礎力育成支援事業推進協議会要綱の一部を改正する要綱)	承認
		議案第 14 号	教科用図書八重山採択地区協議会委員の選任について	選任
第 3 回 定例会	6 月 24 日	議案第 15 号	石垣市立幼稚園保育料に関する条例施行規則の全部改正について	原案可決
		議案第 16 号	石垣市立学校給食センター調理業務等民間委託推進検討会議設置要綱の制定について	原案可決
		議案第 17 号	石垣市立学校給食センター調理業務等委託業者選定委員会設置要綱の制定について	原案可決
		議案第 18 号	石垣市立学校給食センター運営委員会委員の委嘱の承認を求めることについて	承認
		議案第 19 号	石垣市立図書館協議会委員の委嘱の承認を求めることについて	承認

		議案第 20 号	学校施設の使用に関する協定の締結の承認を求めることについて	承認
		議案第 21 号	臨時代理の承認を求めることについて(学校施設の使用に関する協定の締結)	承認
		議案第 22 号	臨時代理の承認を求めることについて(登野城小学校校舎新增改築工事(3 工区)の工事請負契約に係る議案の議会提出)	承認
		議案第 23 号	臨時代理の承認を求めることについて(登野城小学校校舎新增改築工事(4 工区)の工事請負契約に係る議案の議会提出)	承認
第 4 回 定例会	7 月 22 日	議案第 24 号	石垣市立学校給食センター調理業務等民間委託基本方針の承認を求めることについて	承認
		議案第 25 号	石垣市立幼稚園教諭代替職員の勤務条件等に関する要綱の制定について	原案可決
		議案第 26 号	社会教育学級実施委託要綱の一部を改正する要綱について	原案可決
		議案第 27 号	教育長の権限に属する事務の一部を事務長に委任する規程の制定について	原案可決
		議案第 28 号	石垣市立学校職員服務規程の一部を改正する規程について	原案可決
		議案第 29 号	平成 27 年度石垣市立学校給食センター給食会計歳入・歳出決算の承認を求めることについて	承認
		議案第 30 号	平成 28 年度石垣市立学校給食センター給食会計歳入・歳出補正予算(第 1 号)の承認を求めることについて	承認
		議案第 31 号	臨時代理の承認を求めることについて(石垣市立学校職員安全衛生管理規則の一部を改正する規則)	承認
第 5 回 定例会	8 月 26 日	議案第 32 号	石垣市立幼稚園管理規則の一部を改正する規則について	原案可決
		議案第 33 号	平成 29 年度石垣市立幼稚園園児募集基本方針の承認を求めることについて	承認
		議案第 34 号	平成 28 年度石垣市一般会計補正予算(第 2 号)案提出の承認を求めることについて	承認
		議案第 35 号	石垣市教育事務点検評価実施要綱の一部を改正する要綱について	原案可決
		議案第 36 号	いしがき教育の日推進委員会規程の一部を改正する規程について	原案可決
		議案第 37 号	石垣市教育事務点検評価委員会外部評価委員の委嘱の承認を求めることについて	承認
		議案第 38 号	石垣市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱の承認を求めることについて	承認
		議案第 39 号	臨時代理の承認を求めることについて(石垣市奨学基金条例施行規則の一部を改正する規則)	承認
第 6 回 定例会	9 月 23 日	議案第 40 号	石垣市社会教育指導員設置に関する規則等の一部を改正する規則について	原案可決
		議案第 41 号	石垣市学校司書嘱託員設置要綱等の一部を改正する要綱について	原案可決
		議案第 42 号	石垣市教育委員会産業医の報酬、費用弁償その他勤務条件等に関する要綱の制定について	原案可決
		議案第 43 号	臨時代理の承認を求めることについて(石垣市立幼稚園管理規則の一部を改正する規則)	承認
		議案第 44 号	(仮称)大浜町浄水場跡に係る建議について	建議書に基づく調査を進めていくこと

第7回 定例会	10月26日			審議議案なし
第8回 定例会	11月25日	議案第45号	平成28年度石垣市一般会計補正予算(第4号)案提出の承認を求めることについて	承認
		議案第46号	平成28年度石垣市教育事務点検評価報告書(平成27年度事業対象)の承認を求めることについて	承認
		議案第47号	平成29年度石垣市教育委員会人事異動方針の承認を求めることについて	承認
		議案第48号	平成29年度石垣市教育委員会(幼稚園教諭)人事異動方針の承認を求めることについて	承認
		議案第49号	平成29年度石垣市立幼稚園園児募集基本方針の一部改正の承認を求めることについて	承認
		議案第50号	訴えの提起に係る議案の議会提出の承認を求めることについて(所有権確認請求事件)	承認
		議案第51号	訴えの提起に係る議案の議会提出の承認を求めることについて(所有権移転登記手続請求事件)	承認
		議案第52号	臨時代理の承認を求めることについて(教員採用試験対策講座塾長設置要綱)	承認
第9回 定例会	12月22日	議案第53号	石垣市奨学基金条例施行規則の一部を改正する規則について	原案可決
		議案第54号	桃原用昇奨学基金条例施行規則の一部を改正する規則について	原案可決
		議案第55号	臨時代理の承認を求めることについて(平成28年度石垣市一般会計補正予算(第3号))	承認
		議案第56号	平成28年度石垣市立学校給食センター給食会計歳入・歳出補正予算(第2号)の承認を求めることについて	承認
第10回 定例会	1月20日	議案第57号	石垣市立八重山博物館入館料徴収条例の一部を改正する条例の議会提出の承認を求めることについて	承認
第11回 臨時会	2月1日	議案第58号	石垣市立幼稚園の学級編制の特例に関する規則の制定について	原案可決
第12回 定例会	2月24日	議案第59号	へき地児童生徒援助費等補助金(医師等派遣事業)の謝金及び旅費に関する要綱の制定について	原案可決
		議案第60号	石垣市立学校職員に係る教職員評価システム苦情対応要綱の制定について	原案可決
		議案第61号	石垣市教育委員会臨床心理士誘致支援事業補助金交付要綱の制定について	原案可決
		議案第62号	平成28年度石垣市一般会計補正予算(第6号)案提出の承認を求めることについて	承認
		議案第63号	平成29年度石垣市一般会計予算(教育予算)案提出の承認を求めることについて	承認
		議案第64号	平成29年度石垣市立学校給食センター給食会計歳入・歳出予算の承認を求めることについて	承認
		議案第65号	平成29年度石垣市学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱の承認を求めることについて	承認
		議案第66号	平成29年度教育委員会学校関係職員(幼稚園教諭等)定期人事異動の内示の承認を求めることについて	承認
		議案第67号	平成29年度県費教職員(管理職を除く)人事異動内申の承認を求めることについて	承認
		議案第68号	臨時代理の承認を求めることについて(平成29年度県費教職員(管理職)人事異動内申)	承認

第13回 定例会	3月24日	議案第69号	平成29年度教育委員会事務局・教育機関(学校を除く)定期人事異動内示の承認を求めることについて	承認
		議案第70号	平成29年度石垣市教育委員会教育主要施策体系の承認を求めることについて	承認
		議案第71号	石垣市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する規程について	原案可決
		議案第72号	石垣市教育委員会産業医の報酬、費用弁償その他勤務条件等に関する要綱の一部を改正する要綱について	原案可決
		議案第73号	石垣市臨床心理士の勤務条件等に関する要綱の一部を改正する要綱について	原案可決
		議案第74号	石垣市教育委員会臨床心理士誘致支援事業補助金交付要綱の一部を改正する要綱について	原案可決
		議案第75号	石垣市小学生・中学生国内外交流事業実施要綱の一部を改正する要綱について	原案可決
		議案第76号	臨時代理の承認を求めることについて(訴えの提起に係る議案の議会提出の承認を求めることについて(所有権移転登記手続き請求事件))	承認

2 教育事務点検評価

平成29年度 教育事務(平成28年度事業)点検評価結果一覧表

番号	事業名	新規	主要施策	担当課	内部評価	外部評価	頁
1	ストレスチェック	○	7 教育行政の充実	総務課	A	A	10
2	いじめ問題対策費	○	7 教育行政の充実	総務課	B	A	11
3	児童生徒援助費		7 教育行政の充実	学務課	A	A	12
4	学校図書館図書整備費(小中)		7 教育行政の充実	学務課	A	S	13
5	浄化槽水質検査費(幼小中)		7 教育行政の充実	学務課	C	B	14
6	特別支援教育支援事業		2 学校教育の充実	学校教育課	A	A	15
7	情報教育充実事業		3 国際社会・情報社会等への対応	学校教育課	A	A	16
8	教員採用試験対策事業	○	7 教育行政の充実	学校教育課	A	S	17
9	冠鷲プロジェクト(地域・家庭支援事業)		1 生涯学習の充実	いきいき学び課	A	A	18
10	青少年生活指導事業		4 青少年の健全育成	いきいき学び課	A	B	19
11	石垣市小学生・中学生国内外交流事業	○	1 生涯学習の充実	いきいき学び課	A	A	20
12	史跡フルスト原遺跡保存修理費		6 文化の継承・発展	文化財課	A	A	21
13	舟蔵第二貝塚発掘調査事業	○	6 文化の継承・発展	文化財課	A	A	22
14	いしがきの原風景写真等デジタル化事業		6 文化の継承・発展	市史編集課	A	A	23
15	喜舎場永珣資料調査事業		6 文化の継承・発展	博物館	A	A	24
16	資料の収集整理		6 文化の継承・発展	博物館	A	A	25
17	調理業務等民間委託業務	○	2 学校教育の充実	学校給食センター	A	A	26
18	給食調理費		2 学校教育の充実	学校給食センター	S	A	27
19	乳幼児期における読書環境の充実を図る事業(だっこDEおはなし会)	○	5 社会教育の充実	図書館	S	S	28
20	耳学問の会		5 社会教育の充実	図書館	A	A	29

評価	内部評価	外部評価
S : 計画以上 (101%以上)	2事業	3事業
A : 計画通り (70~100%)	16事業	15事業
B : ある程度計画通り (50~69%)	1事業	2事業
C : あまりうまくいっていない (30~49%)	1事業	0事業
D : うまくいっていない (29%以下)	0事業	0事業

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度	平成29年度(平成28年度事業)		主管課	総務課	
事務事業名	ストレスチェック(一般事務費)				
施策体系	主要施策	7 新しい時代を展望した教育行政の充実[教育行政の充実]			
	施策項目	(7) 快適な職場環境の形成と安全衛生管理体制の整備充実			
【事業概要】					
(1)対象	石垣市立小中学校、幼稚園に勤務する教職員				
(2)目的	自分がどの程度のストレスを抱えているかを知ってもらい、メンタルヘルス予防に努めることを促す				
(3)目的達成のための手段(事業内容)	ストレスチェックを実施する。ストレスチェックの実施は公立学校共済組合へ委託し、同組合が管理するシステムを利用してストレスチェックが受検できる。				
(4)成果目標	教職員が自身のストレス状態を把握し、メンタルヘルス予防に努めること				
(5)根拠法令等	労働安全衛生法				
【事業実績・目標】					
H28年度実績	決算額	147 千円	H27年度実績	決算額	— 千円
システム使用料…47千円 産業医報酬…100千円					
◆ストレスチェック実施結果(平成28年10月実施) 受検対象者:448名 受検者:221名 回答率:49.3% 高ストレス者:17名(7.6%)					
			H29年度目標	予算額	446 千円
【目標】 ストレスチェック結果の集団分析を行うにあたり、統計学的には回答率60%以上であれば、信頼度の高い分析結果が得られるとされている。よって、目標を回答率60%に設定し、回答率に応じて内部評価を決定する。			システム使用料…85千円 産業医報酬…361千円 ◆ストレスチェック実施計画 平成29年6月と11月の2回実施を予定		
【点検評価】					
区分	評価の説明				評価凡例
内部評価	【成果・課題等】 平成28年度からの新規事業であったが、公立学校共済組合と連携を取りながら、予定どおりストレスチェックを実施できた。しかし、学校現場においては同制度の認知度が低く、受検者の数は思ったより少なかった。次年度はストレスチェック制度の周知に努め、回答率アップを図る。				S:計画以上(101%以上) A:計画通り(70~100%) B:ある程度計画通り(50~69%) C:あまりうまくいっていない(30~49%) D:うまくいっていない(29%以下)
外部評価	安心できる職場環境で児童・生徒と向き合うことが学力向上にも繋がっていくので、教職員の学校現場におけるストレスチェックは、重要である。このストレスチェックは、個人のプライバシーも守られ、安心して受検できるので、より多くの職員へこの制度の周知に努めていく必要がある。メンタルヘルスの予防に努め、快適な環境で心身ともに健康な教職員と児童・生徒の育成を促進してほしい。				

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】						
評価年度	平成29年度(平成28年度事業)		主管課	総務課		
事務事業名	いじめ問題対策費					
施策体系	主要施策	7 新しい時代を展望した教育行政の充実[教育行政の充実]				
	施策項目	(6) 各教育機関・他行政機関・団体との連携				
【事業概要】						
(1)対象	児童生徒					
(2)目的	教育委員会、学校、地域住民、家庭、その他の関係者の連携の下、いじめの防止、いじめの早期発見、いじめが発生した場合の対処等のための対策を総合的かつ効果的に推進する。					
(3)目的達成のための手段(事業内容)	いじめ防止等に関する機関及び団体の連携を図るため、学校、教育委員会、児童相談所、法務局、警察その他の関係者により構成されるいじめ問題対策連絡協議会を設置する。 いじめの防止等のための対策を実効的に行うようにするため必要があるときは、いじめ問題対策審議会を設置する。					
(4)成果目標	いじめ問題対策連絡協議会を開催する。					
(5)根拠法令等	いじめ防止対策推進法 石垣市いじめ防止基本方針 石垣市いじめ問題対策連絡協議会設置条例 石垣市いじめ問題対策審議会規則					
【事業実績・目標】						
H28年度実績	決算額	18 千円		H27年度実績	決算額	— 千円
<input type="checkbox"/> 教育委員会8月定例会 石垣市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱の承認 <input type="checkbox"/> いじめ問題対策連絡協議会 第1回会議 平成28年10月11日(火)15:00 委嘱状交付 会長・副会長選出 議事 (1)石垣市いじめ防止基本方針・石垣市いじめ問題対策連絡協議会について (2)学校におけるいじめ問題の現状について (3)その他 <input type="checkbox"/> 決算内訳 いじめ問題対策連絡協議会委員報酬 3,500円×5人×1回=17,500円				H29年度目標	予算額	321 千円
				<input type="checkbox"/> いじめ問題対策連絡協議会 3回開催 <input type="checkbox"/> 予算内訳 いじめ問題対策連絡協議会委員報酬 3,500円×10人×3回=105,000円 いじめ問題対策審議会委員報酬 9,000円×6人×4回=216,000円		
【点検評価】						
区分	評価の説明					評価凡例
内部評価	【成果・課題等】 石垣市いじめ防止基本方針策定後、初めての開催となった。いじめ問題の未然防止、早期発見、早期対応に取り組むためには、関係各機関の横の連携は欠かせないものである。今後は、協議会が有効に機能するよう、日程調整や議題の選定等、関係各課と協力しながら、定期的な開催に努める必要がある。					S:計画以上 (101%以上) A:計画通り (70~100%) B:ある程度 計画通り (50~69%) C:あまりうまく いっていない (30~49%) D:うまくいって いない (29%以下)
	B					
外部評価	いじめ問題は、学校現場と各関係機関の連携をより強化し、問題の抜本的な解決を図ることが重要である。石垣市いじめ問題対策連絡協議会が開催されたことは意義深い。いじめ問題は、学校現場の生徒指導と密接な関係があるので、初期対応として教育委員会との連携も最優先される。さらに、定期的な対策連絡協議会や臨時の対策協議会の開催にも努めてほしい。					
	A					

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】						
評価年度	平成29年度(平成28年度事業)		主管課	学務課		
事務事業名	児童生徒援助費					
施策体系	主要施策	7 新しい時代を展望した教育行政の充実[教育行政の充実]				
	施策項目	(2) 学校及び社会教育の施設・設備の整備充実				
【事業概要】						
(1)対象	市立小中学校児童生徒保護者					
(2)目的	経済的理由により就学困難な児童生徒の保護者に対し、諸経費の一部を援助することにより、義務教育の円滑な実施に資する。					
(3)目的達成のための手段(事業内容)	補助対象費目(学用品費、医療費及び学校給食費など)を、保護者へ給付する。					
(4)成果目標	援助が必要な世帯に支援が行えるよう、申請率20%を目標に制度の広報や保護者の周知に努める。					
(5)根拠法令等	学校教育法第19条					
【事業実績・目標】						
H28年度実績	決算額	41,145 千円		H27年度実績	決算額	40,120 千円
・小学校 506人 26,239,069円 認定率 94.5%(対申請数) 認定率 14.5%(対児童数)			・小学校 490人 25,835,954円 認定率 81.5%(対申請数) 14.3%(対児童数)			
・中学校 211人 14,906,198円 認定率 94.6%(対申請数) 認定率 13.7%(対生徒数)			・中学校 204人 14,295,391円 認定率 78.0%(対申請数) 13.0%(対生徒数)			
計 717人 49,450,113円 認定率 14.2% 認定率 94.5%(対申請数) 認定率 14.2%(対児童生徒数)			計 694人 40,120,346円 認定率 80.4%(対申請数) 13.9%(対児童生徒数)			
			H29年度目標	予算額	49,450 千円	
			・小学校 533人 30,246,353円 ・中学校 234人 19,203,760円 計 767人 49,450,113円			
【点検評価】						
区分	評価の説明					評価凡例
内部評価	【成果・課題等】 県の子どもの貧困対策基金を活用し認定基準の緩和を行ったことにより、より多くの保護者の援助を行えることとなった。しかし認定者は小・中ともに微増となっており、保護者への制度の周知徹底や支給単価の引上げ等、制度の拡充に取り組んでいく必要がある。					S:計画以上 (101%以上) A:計画通り (70~100%) B:ある程度 計画通り (50~69%) C:あまりうまく っていない (30~49%) D:うまくいっ っていない (29%以下)
	外部評価	認定基準の緩和により、児童生徒援助費の認定率が上昇したことは大いに評価できる。ただ、沖縄県の子どもの貧困率は約3割で、本市の援助費の認定率は小中学校で14.2%であることから、本当に必要な保護者が申請しているか等、学校と密接に連携をとりながら制度の周知を図り申請率を上げてほしい。できるだけ事務手続き等を簡素化し、保護者が申請しやすい状況を作っていくことが大事である。				

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】							
評価年度	平成29年度(平成28年度事業)		主管課	学務課			
事務事業名	学校図書館図書整備費(小中)						
施策体系	主要施策	7 新しい時代を展望した教育行政の充実[教育行政の充実]					
	施策項目	(2) 学校及び社会教育の施設・設備の整備充実					
【事業概要】							
(1)対象	市立小中学校						
(2)目的	学校図書館の図書の充実を図り、児童・生徒の学習及び情操教育に役立てる。						
(3)目的達成のための手段(事業内容)	学校規模(児童・生徒数、学級数)に応じて予算を割り当て、図書を購入する。						
(4)成果目標	図書購入による学校図書館の充実。						
(5)根拠法令等	学校図書館法						
【事業実績・目標】							
H28年度実績	決算額	4,903 千円		H27年度実績	決算額	4,902 千円	
<input type="checkbox"/> 小学校 20校 2,596,467円 平成28年5月1日 平均蔵書達成率 106%			<input type="checkbox"/> 小学校 20校 2,594,483円 平成27年5月1日 平均蔵書達成率 112%				
<input type="checkbox"/> 中学校 9校 2,306,056円 平成28年5月1日 平均蔵書達成率 108%			<input type="checkbox"/> 中学校 9校 2,307,313円 平成27年5月1日 平均蔵書達成率 106%				
			H29年度目標	予算額	4,909 千円		
			<input type="checkbox"/> 小学校 20校 2,600,000円 <input type="checkbox"/> 中学校 9校 2,309,000円				
【点検評価】							
区分	評価の説明				評価凡例		
内部評価	【成果・課題等】 前年度より若干下回る平均蔵書達成率となった。今後も引き続き平均蔵書率を達成できるよう整備を行いたい。				S:計画以上(101%以上) A:計画通り(70~100%) B:ある程度計画通り(50~69%) C:あまりうまくいっていない(30~49%) D:うまくいっていない(29%以下)		
	A						
外部評価	平均蔵書達成率は、小中学校とも100%を上回っており、学校図書館の図書はかなり充実している。それに伴って児童・生徒の学習及び情操教育の充実に期待したい。引き続き予算は計画通り確保してほしい。大規模校ではPTAの予算で図書購入を行っているところもあり、蔵書達成率は高い状況にある。しかし、小規模校においてはPTA会員は少なく、PTAの予算では厳しい面があり、蔵書達成率が低いことから、今後、小規模校に予算を多めに配分できないか検討していく必要がある。						
	S						

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】							
評価年度	平成29年度(平成28年度事業)		主管課	学務課			
事務事業名	浄化槽水質検査費(幼小中)						
施策体系	主要施策	7 新しい時代を展望した教育行政の充実[教育行政の充実]					
	施策項目	(2) 学校及び社会教育の施設・設備の整備充実					
【事業概要】							
(1)対象	幼稚園 11園、小学校 16校、中学校 3校						
(2)目的	浄化槽法第11条(定期検査) 保守点検や清掃が適正に実施され、浄化槽の働きが正常に維持されているかを検査する。						
(3)目的達成のための手段(事業内容)	浄化槽法の規定により、浄化槽管理(設置)者は、指定検査機関の行う検査の受検、浄化槽の保守点検及び清掃を行う。 浄化槽法第11条の規定に基づく年1回の検査を、県知事指定の検査機関が実施する。						
(4)成果目標	環境衛生上影響を及ぼす恐れがないよう、浄化槽の適切な維持管理に努める。						
(5)根拠法令等	浄化槽法第11条第1項						
【事業実績・目標】							
H28年度実績	決算額	189 千円		H27年度実績	決算額	183 千円	
【幼稚園 11園、11基】 (あまかわ、へいしん、やえやま、おおかわ、おおはま、かわはら、いのだ、ひらくぼ、あかし、のそこ、なぐら)			【幼稚園 11園、11基】 【小学校 16校、24基】 【中学校 3校、3基】				
【小学校 16校、24基】 (平久保、石垣、平真、真喜良、八島、登野城、川原・体育館、大本、名蔵・体育館、崎枝〈体育館・図書館裏・給食室〉、伊野田・体育館、明石、吉原・体育館、野底〈ランチ・給食室・校門前〉、富野、大浜)			H29年度目標		予算額	193 千円	
【中学校 3校、3基】 (石垣第二、崎枝、伊原間)			【幼稚園 11園、11基】 【小学校 15校、24基】 【中学校 3校、3基】				
【点検評価】							
区分	評価の説明				評価凡例		
内部評価	C	【成果・課題等】 浄化槽機材の経年劣化や機能の低下により、検査結果の改善報告を受ける施設がある。その指摘事項を基に、部品の取替えや修繕を行っているが、一部未対応の状況がある。				S:計画以上 (101%以上) A:計画通り (70~100%) B:ある程度 計画通り (50~69%) C:あまりうまく いっていない (30~49%) D:うまくいって いない (29%以下)	
外部評価		予算の関係により、部品の交換や修繕に一部未対応な学校があるということだが、学校での環境整備は最優先すべきものである。児童生徒が安全、安心に学校生活を送れるよう、必要な箇所は早期に改善し、浄化槽の適切な維持管理に努めていただきたい。					
	B						

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度	平成29年度(平成28年度事業)		主管課	学校教育課	
事務事業名	特別支援教育支援事業				
施策体系	主要施策	2 自ら学ぶ意欲を育む学校教育の充実[学校教育の充実]			
	施策項目	(5) 特別支援教育の充実			
【事業概要】					
(1)対象	園・学校生活を過ごす上で、安全面や生活面、学習面で支援を必要とする幼児児童生徒				
(2)目的	市立幼稚園、小学校、中学校に通う介助及び学習支援を必要とする幼児児童生徒の身の安全・安心を保障するとともに、他の幼児児童生徒の身の安全・安心や及ぼす影響を軽減し、どの子にとっても「安全・安心」な園・学校づくりを図る。				
(3)目的達成のための手段(事業内容)	市立幼稚園・小学校・中学校に在学する障がいを持った幼児児童生徒に対し、個に応じた教育の充実を図るために特別支援教育支援員を派遣する。				
(4)成果目標	園・学校生活における安全面や生活面、学習面の補助を行うことにより、当該園児・児童生徒の集団適応を自立を促す。				
(5)根拠法令等	石垣市特別支援教育支援員派遣事業実施要項 石垣市特別支援教育支援員派遣検討委員会設置要綱				
【事業実績・目標】					
H28年度実績	決算額	14,577 千円	H27年度実績	決算額	14,516 千円
園長又は学校長の申請に対し、障がいを持った幼児児童生徒の安全面や生活面での補助のため、平成28年度は、19名の特別支援教育支援員を派遣した。 <input type="checkbox"/> 学校・園からの申請児童生徒数・・・47名 <input type="checkbox"/> 対応した幼児児童生徒数・・・36名 <input type="checkbox"/> 派遣した支援員数・・・19名			園長又は学校長の申請に対し、障がいを持った幼児児童生徒の安全面や生活面での補助のため、平成27年度は、20名の特別支援教育支援員を派遣した。 <input type="checkbox"/> 学校・園からの申請児童生徒数・・・41名 <input type="checkbox"/> 対応した幼児児童生徒数・・・29名 <input type="checkbox"/> 派遣した支援員数・・・20名		
			H29年度目標	予算額	14,864 千円
			園長又は学校長の申請に対し、障がいを持った幼児児童生徒の安全面や生活面での補助のため、平成29年度は、19名の特別支援教育支援員の派遣を予定している。 <input type="checkbox"/> 学校・園からの申請児童生徒数・・・42名		
【点検評価】					
区分	評価の説明				評価凡例
内部評価	【成果・課題等】 平成28年度、特別支援教育支援員を計画通り19名配置し、47名申請に対し36名の幼児児童生徒に対応することができたことから評価をAとした。しかし、園・学校からの申請数は47名で11名の要望に応えることができなかったことや発達障害を含む支援対象児童生徒数が増加傾向(文科省調査では通常学級在籍児童生徒の6.5%)にあり、園や学校では適切な支援・指導に苦慮している現状もある。 「障害のある子どもと障害のない子どもが、できるだけ同じ場で共に学ぶことを目指す」インクルーシブ教育が推進される中、就学支援においても、小中学校普通学級への就学を希望する保護者が増えている。教育委員会としては適切な就学を支援する一方、特別支援教育支援員派遣事業を継続していく。				S:計画以上(101%以上) A:計画通り(70~100%) B:ある程度計画通り(50~69%) C:あまりうまくいっていない(30~49%) D:うまくいっていない(29%以下)
	A				
外部評価	発達障害を含む支援対象児童生徒が増加傾向にある昨今、本市においても予算の関係上申請数すべてに対応できない現状は厳しい面がある。インクルーシブ教育が推進される中、就学支援においても保護者の要望を受け入れつつ、特別支援学校への体験等、特別支援学校と密接な連携を図り、その上で保護者や児童生徒に選択させる等、保護者への積極的な働きかけや理解に努めてほしい。				
A					

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度	平成29年度(平成28年度事業)	主管課	学校教育課		
事務事業名	情報教育充実事業				
施策体系	主要施策	3 多様化、高度化する社会の変化に対応した教育の推進[国際社会・情報社会等への対応]			
	施策項目	(4) 情報教育の推進			
【事業概要】					
(1)対象	各学校の教職員及び児童生徒				
(2)目的	学校等における教員のICT活用指導力の育成並びに校務の負担軽減等及び児童生徒等の情報活用能力の育成のため、情報化を推進し教育の質の向上を図る。				
(3)目的達成のための手段(事業内容)	各学校におけるICT機器(パソコン賃貸借、学校図書館システム賃貸借、学校ネットワークシステム保守、パソコン及びネットワーク機器の修繕、廃棄処理等)の整備から運用まで実施。				
(4)成果目標	学校における情報教育環境の整備の充実と安定的・継続的運用。				
(5)根拠法令等					
【事業実績・目標】					
H28年度実績	決算額	39,872 千円	H27年度実績	決算額	15,504 千円
1. 校内ネットワーク維持管理関係 (1)校内LAN環境の維持管理及び障害対応の実施 (2)校内ネットワークセキュリティ対策(ウイルス対策等) (3)雷対策(サージタップの購入及び全校へ124個を配布) 2.PC整備関係 (1)校務用PC整備(3ヵ年計画、243台賃貸借契約、整備率75%) (2)教育用PC整備(3ヵ年計画、63台賃貸借契約、整備率23%) (3)校務用PC整備(非常勤職員、幼稚園担任、学校教育支援員へ追加) ・従来の購入PCから保守契約を含む賃貸借契約に切り替えることで、機器の保守面、運用管理面において安定且つ効率的な整備を実施。 ・機器整備計画対象外である非常勤や学校教育支援員の他、これまで整備できなかった幼稚園担任への校務用PCを、賃貸借契約に切り替え時に回収した校務用PCを再利用することで、配備を実現。 3.学校図書館システム維持管理関係 (1)学校図書館システム研修(全校の学校司書対象に実施) (2)TOOLi-S操作研修(全校の学校司書及び司書教諭対象に実施) 4.ICT機器維持管理関係 (1)機器修理・・・電子黒板3台、書画カメラ2台、校務用PC2台、タブレット1台、ネットワーク1拠点等 (2)廃棄処理・・・デスクトップPC38台、ノートPC55台等 (3)機器購入・・・ネットワーク機器購入設置6拠点			1. 校内ネットワーク維持管理関係 (1)校内LAN環境の維持管理及び障害対応の実施 (2)校内ネットワークセキュリティ対策(ウイルス対策等) 2.PC整備関係において、校務用PC整備(79台賃貸借契約) 3.学校図書館システム維持管理関係 (1)学校図書館システム研修(全校の学校司書対象に実施) (2)TOOLi-S操作研修(全校の学校司書及び司書教諭対象に実施)		
			H29年度目標	予算額	49,015 千円
			1. 校内ネットワーク維持管理関係 2.PC整備関係 (1)校務用PC整備(3ヵ年計画、80台賃貸借契約、整備率100%) (2)教育用PC整備(3ヵ年計画、150台賃貸借契約、整備率67%) 3.学校図書館システム維持管理関係における研修の実施 4.ICT機器維持管理関係 (1)機器修理・・・電子黒板3台、書画カメラ4台、校務用PC16台、タブレット38台等 (2)機器購入・・・ネットワーク機器購入設置6拠点		
【点検評価】					
区分	評価の説明				評価凡例
内部評価	【成果・課題等】 従来の購入PCから保守契約を含む賃貸借契約に切り替えることで、機器の保守面、運用管理面において安定且つ効率的な整備となるように整備計画を立てて実施した3ヵ年計画の1年目となる。優先度の高かった校務用PCが、計画より多くの賃貸借契約に切り替えが出来、保守面・運用面において安定し、機器の性能としてもデジタル教科書の推奨性能、電子黒板と接続が簡単なHDMIの接続も可能となり、情報教育環境の充実が図られた。 学校におけるネットワーク利用及び障害対応、ウイルス・セキュリティ対策による安定的運用が実施できた。 一括交付金で全学校に導入しているICT機器の故障が増加しており、今後、高額な備品のため修理料金も高く、修理費の予算の確保及び耐用年数経過後の入れ替え予算の確保等が大きな課題。				S:計画以上(101%以上) A:計画通り(70~100%) B:ある程度計画通り(50~69%) C:あまりうまくいっていない(30~49%) D:うまくいっていない(29%以下)
	A				
外部評価	情報教育充実事業の予算は毎年増額され、ICT機器の整備や運用に工夫を凝らしている。また、効率的に整備計画を立て、情報教育の充実を図っている努力がうかがえる。以前に、一括交付金を活用して電子黒板等ICT機器を全学校に導入しており、情報教育環境は整っているものと思う。更に、ICT機器等修理費の予算確保に努め、今後とも、情報教育環境の整備に取り組んでいただきたい。				
	A				

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度	平成29年度(平成28年度事業)	主管課	学校教育課		
事務事業名	教員採用試験対策事業(沖振交)				
施策体系	主要施策	7 新しい時代を展望した教育行政の充実[教育行政の充実]			
	施策項目	(3) 各種研修の充実・強化			
【事業概要】					
(1)対象	教員免許状を有し、石垣市内での教職を希望する者				
(2)目的	島内において教員採用試験対策講座を開設し、多くの採用試験合格者を輩出させ、教育を担う人材の育成を図る。				
(3)目的達成のための手段(事業内容)	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度実施教員採用試験対策直前講座の実施(4月～9月) 平成29年度実施教員採用試験対策講座の実施(11月～3月) 				
(4)成果目標	○教員採用試験対策講座受講者数 ・小学校70人 ・中学校50人 ○教員候補者選考試験合格者数 ・小学校7人 ・中学校2人				
(5)根拠法令等					
【事業実績・目標】					
H28年度実績	決算額	1,846 千円	H27年度実績	決算額	— 千円
■平成28年度実施教員採用試験直前対策講座の実施 ・受講者 75名 ■平成29年度実施教員採用試験対策講座の実施 ・受講者 59名 ■平成28年度実施沖縄県公立学校教員候補者選考試験 ・14名の合格者を輩出(前年度より2名増) ※合格率18.6%			H29年度目標	予算額	8,254 千円
			■平成29年度実施教員採用試験直前対策講座の実施 ■平成30年度実施教員採用試験対策講座の実施 ■平成29年度実施沖縄県公立学校教員候補者選考試験 ・合格者 14名以上		
【点検評価】					
区分	評価の説明				評価凡例
内部評価	【成果・課題等】 ○島内で、年間を通して教員採用試験対策講座を実施することができた。 ・島を離れ、沖縄本島まで出かけなくてもよくなった。 ・試験合格を目指す者同士が週4回集まることにより、切磋琢磨する環境が生まれた。 ○平成28年度実施沖縄県教員候補者選考試験において、14名の合格者を輩出した。 ○専門業者(沖縄教育カレッジ)に委託したことで、より多くの新しい情報が得られた。 △各職種(小、中、特別支援、養護等)に専門的に対応した講師の確保ができなかった。				S: 計画以上 (101%以上) A: 計画通り (70～100%) B: ある程度 計画通り (50～69%) C: あまりうまく っていない (30～49%) D: うまくいっ っていない (29%以下)
	A				
外部評価	島内で年間を通して、教員採用試験対策講座を開設し、多くの合格者を輩出させ、即効果が表れたことは、すばらしいことである。 沖縄本島で採用試験対策講座を受講するには、時間的にも経済的にも負担である。この事業を継続実施し、より多くの地元出身者の合格者を輩出し、教員の人材育成を図ってほしい。				
	S				

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度	平成29年度(平成28年度事業)	主管課	いきいき学び課		
事務事業名	冠鷲プロジェクト(地域・家庭支援事業)(沖振交)				
施策体系	主要施策	1 潤いと生きがいのある生涯学習社会の実現[生涯学習の充実]			
	施策項目	(3) 生涯学習関連事業の充実			
【事業概要】					
(1)対象	市内在住児童				
(2)目的	地域住民の協力による学習支援活動を行い、家庭学習の習慣化を促進し、本市児童の学力向上に資する。				
(3)目的達成のための手段(事業内容)	地域のスポーツ少年団父母会、PTA有志、退職職員等の協力を得て、学校の授業終了後から帰宅もしくは部活動が始まるまでの「隙間の時間」や夏季休暇を利用した学習支援活動を行う。				
(4)成果目標	参加児童数 485人以上				
(5)根拠法令等	沖繩振興特別推進市町村交付金交付要綱、冠鷲プロジェクト地域・家庭支援事業実施要綱				
【事業実績・目標】					
H28年度実績	決算額	2,478 千円	H27年度実績	決算額	2,524 千円
<input type="checkbox"/> 実施団体数:スポーツ少年団 12団体 参加人数:288名 その他 4団体 参加人数:169名 合計 16団体 参加人数:457名		<input type="checkbox"/> 実施団体数:スポーツ少年団 15団体 参加人数:372名 その他 6団体 参加人数:216名 合計 21団体 参加人数:588名			
<input type="checkbox"/> 夏休み特別教室の開催 2ヵ所 開催場所 石垣市立図書館、新川小学校		<input type="checkbox"/> 夏休み特別教室の開催 3ヵ所 開催場所 石垣市立図書館、新川小学校、宮良小学校			
<input type="checkbox"/> 実施団体意見交換会の開催 平成28年12月26日 開催場所 石垣市役所2階会議室		H29年度目標		予算額	2,500 千円
<input type="checkbox"/> 生涯学習フェスティバルにて学習支援報告 平成29年2月19日 開催場所 市民会館中ホール		<input type="checkbox"/> 平成29年7月現在、11団体269名の児童が参加。			
<input type="checkbox"/> 平成28年度 冠鷲プロジェクト報告書作成		<input type="checkbox"/> 夏休み特別教室は3ヵ所で開催予定。			
【点検評価】					
区分	評価の説明				評価凡例
内部評価	【成果・課題等】 成果目標「参加児童数:485人」平成28年度:457名 達成率:94% これまで成果目標としていた「アンケートより算出した参加者の満足度」から、より具体的な指標として「参加児童数」に改めることとし、目標値は過去5年間の参加児童数の平均値以上とした。平成28年度の参加児童数は457名で、目標値をやや下回り、平成27年度と比べ131名減少している。これは、活動に参加出来る学習支援員の確保が難しく、負担を感じている保護者も多いことから、それを理由に参加を見送る団体も見受けられる。学習支援員の負担感をいかに軽減するかが今後の課題である。				S:計画以上(101%以上) A:計画通り(70~100%) B:ある程度計画通り(50~69%) C:あまりうまくいっていない(30~49%) D:うまくいっていない(29%以下)
	A				
外部評価	冠鷲プロジェクトは、家庭学習の習慣化を図り、本市児童生徒の学力向上を図ることが目的である。目的達成の手段としての「隙間の時間」等学習支援活動で、学習の時間を確保し、学力向上へ繋げていることは評価できる。更に、学校現場と連携を密に、家庭での学習環境を整え家庭学習の定着を図り、本市一丸となって学力向上を図る取り組みが必要である。学習支援員の確保は、地域の人材を確保するなど工夫してほしい。また、成果目標は参加人数を目標にすることも良いが、学校現場と連携し、目に見える形で、学力向上に繋がる目標を検討すべきと思う。				
	A				

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度	平成29年度(平成28年度事業)		主管課	いきいき学び課	
事務事業名	青少年生活指導事業				
施策体系	主要施策	4 地域を誇りにし、大切に思う健全な青少年の育成[青少年の健全育成]			
	施策項目	(3) 地域活動及び生活体験の充実			
【事業概要】					
(1)対象	小・中学生及び20歳未満の過卒生、高校生。				
(2)目的	不登校、その他の問題行動の早期発見、早期対応を図る。青少年の健全育成を推進するほか、深夜徘徊や未成年者の飲酒・喫煙等の非行を防止し、善導するとともに、青少年の心身の健やかな成長を連携して見守る。				
(3)目的達成のための手段(事業内容)	電話相談、来所相談、訪問相談等を行い、生徒児童本人や保護者、関係者、教職員等に対して適切な助言、指導を行う。また不登校児童生徒を対象に生活指導、登校、学習支援を通じて学校適応能力を図り、在籍校への復帰を支援する。街頭指導計画に基づき、事件事故、非行防止等の健全育成を目的に主に月1回の夜間街頭指導を実施する。				
(4)成果目標	児童生徒の自力登校または学校復帰。 青少年夜間街頭指導 原則月1回の他、市主催等のイベント開催時に特別街頭指導を実施。				
(5)根拠法令等	石垣市青少年街頭指導員実施要綱 石垣市青少年センター青少年生活指導員設置に関する規則 石垣市青少年センター教育相談員設置に関する規則				
【事業実績・目標】					
H28年度実績	決算額	5,607 千円	H27年度実績	決算額	6,614 千円
<input type="checkbox"/> 通所来所等支援 小学生3名 中学生10名 合計13名 ・概要:不登校児童生徒の在籍校復帰或いは自立等の直接的な支援 ・対象:義務教育期までの児童生徒、保護者、関係者			<input type="checkbox"/> 通所来所等支援 小学生5名 中学生4名 合計9名 <input type="checkbox"/> 教育相談 相談件数 56件 <input type="checkbox"/> 夜間街頭指導 13回 (合計290人の児童生徒等の指導実施)		
<input type="checkbox"/> 教育相談 相談件数 25件 ・概要:不登校、非行、怠学等の教育問題全般に関する相談対応 ・対象:就学中の児童生徒、保護者、関係者			H29年度目標	予算額	7,455 千円
<input type="checkbox"/> 夜間街頭指導 12回 (合計343名の児童生徒等の指導実施)			<input type="checkbox"/> 児童生徒の自力登校または学校復帰 <input type="checkbox"/> 電話相談、来所相談、通所相談等の相談業務を行う <input type="checkbox"/> 特別街頭指導を含む15回の街頭指導を行う		
【点検評価】					
区分	評価の説明				評価凡例
内部評価	【成果・課題等】 支援児童生徒数は前年度より4名増加。学校へ復帰等終結者3名、継続支援4名となっている。児童生徒が学校復帰または自力登校出来る様、保護者との信頼関係をいかに構築していくかが課題である。 教育相談員の未配置(4月～11月)により教育相談の総数は減少しているが、1カ月あたりの平均相談件数は増加している。 夜間街頭指導の実施回数は、前年より1回減少したが指導実施人数は前年より18%増加。青少年の深夜徘徊防止のために今後も継続していく必要がある。				S:計画以上(101%以上) A:計画通り(70～100%) B:ある程度計画通り(50～69%) C:あまりうまくいっていない(30～49%) D:うまくいっていない(29%以下)
	A				
外部評価	児童生徒の学校復帰は、児童生徒の家庭環境や友人関係等があり、かなり厳しい面がある。その中で通所来所支援13名中、学校への復帰終結者を3名出した努力は認める。今後とも、学校、家庭、地域との連携を密にし、青少年の生活指導及び健全育成に根気強く努めていただきたい。				
	B				

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度	平成29年度(平成28年度事業)	主管課	いきいき学び課		
事務事業名	石垣市小学生・中学生国内外交流事業(沖振交)				
施策体系	主要施策	1 潤いと生きがいのある生涯学習社会の実現[生涯学習の充実]			
	施策項目	(3) 生涯学習関連事業の充実			
【事業概要】					
(1)対象	小学生高学年及び中学生				
(2)目的	不登校、その他の問題行動の早期発見、早期対応を図る。 青少年の健全育成を推進するほか、深夜徘徊や未成年者の飲酒・喫煙等の非行を防止し、善導するとともに、青少年の心身の健やかな成長を連携して見守る。				
(3)目的達成のための手段(事業内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームステイの実施、台湾での体験活動及び郷土文化の発表 ・事前事後学習の開催 ・報告会の開催 				
(4)成果目標	・国際交流事業における台湾蘇澳鎮への派遣人員19人(引率者含む)				
(5)根拠法令等	沖繩振興特別推進市町村交付金交付要綱、石垣市小学生・中学生教育交流事業実施要綱				
【事業実績・目標】					
H28年度実績	決算額	2,059 千円	H27年度実績	決算額	- 千円
<input type="checkbox"/> 児童7人、生徒8人、引率4人、計19人を台湾蘇澳鎮へ派遣し、台湾蘇澳鎮での学校交流、海洋学習、施設見学、更にホームステイを通して異文化を体験した。 <input type="checkbox"/> 事前・事後学習について <ul style="list-style-type: none"> ・事前学習2回(オリエンテーション、言語講座、郷土の踊り練習) ・事後学習1回(報告会の練習) <input type="checkbox"/> 報告等について <ul style="list-style-type: none"> ・報告会の実施 日時:7/18(日)18時～ 対象:市民 場所:大濱信泉記念館 参加者:約50名 ・感想文新聞掲載 八重山毎日新聞12/4 八重山日報12/6 ・実績報告書の作成 <input type="checkbox"/> 評価について(アンケート実施による回答) <ul style="list-style-type: none"> ・交流事業参加後、自身の変化があったか ⇒変化があったと回答(100%) 内容)言語の大切さ、コミュニケーションの大切さを学んだ。 外国に興味をもち、ニュースも意識してみるようになった。 自身の成長につながった、英語の重要性を痛感したので、学校の授業を真剣に取り組みたいと思った等。			H29年度目標 予算額 7,096 千円 <input type="checkbox"/> 台湾蘇澳鎮(小学生10名・中学生10名)、岩手県北上市(中学生20名)を派遣。 <input type="checkbox"/> 事前・事後学習を実施(事前学習各5回、事後学習各2回)し、言語の学習や、交流先の文化、郷土の文化の学習を行う。また、岩手県北上市の派遣については、討論会を事前学習に取り入れる。 <input type="checkbox"/> 本事業の報告として、報告会の実施、新聞に感想等を掲載、実績報告書の作成を行う。		
【点検評価】					
区分	評価の説明				評価凡例
内部評価	【成果・課題等】 ・成果として、異文化を早いうちから体験することは、国際的視野を養い、以後の学業に大きくプラスに作用することが児童生徒の感想から伺うことができる。また、事前事後学習や報告会の実施や様々な場面で代表者挨拶の機会を提供することで、プレゼンテーション能力、文章能力の向上や物事に対して積極的に取り組む姿勢を養うことができた。課題は、ホストファミリーとしての受け皿が少ないことや、言語の壁による細部の調整不足が目立った。今後は、よりよい事業推進のため、関係機関と密に連携を図り実施していきたい。				S:計画以上(101%以上) A:計画通り(70～100%) B:ある程度計画通り(50～69%) C:あまりうまくいっていない(30～49%) D:うまくいっていない(29%以下)
	A				
外部評価	本市と台湾とは、古来より歴史や文化の交流があり、また、台湾蘇澳鎮は本市の姉妹都市でもあることから、交流事業は意義深い。また、国内での姉妹都市・岩手県北上市への派遣交流もとても良い。国内外の児童生徒と交流し、視野を広げ、将来への夢と希望を持たせる等、人材育成を図るすばらしい企画である。今後もぜひ継続実施してほしい。				
	A				

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】							
評価年度	平成29年度(平成28年度事業)		主管課	文化財課			
事務事業名	史跡フルスト原遺跡保存修理費						
施策体系	主要施策	6 豊かな感性を育む文化の継承と発展[文化の継承・発展]					
	施策項目	(5) 史跡フルスト原遺跡保存整備					
【事業概要】							
(1)対象	市民、観光客						
(2)目的	国指定史跡フルスト原遺跡の整備を行い有効的な活用を図る。						
(3)目的達成のための手段(事業内容)	国庫補助金、沖縄県補助金を利用して、これまでの調査で出土した遺物の整理を行う。						
(4)成果目標	石積測量、出土品の整理する。						
(5)根拠法令等	文化財保護法、補助金に係る予算の執行適正化に関する法律						
【事業実績・目標】							
H28年度実績	決算額	9,146 千円		H27年度実績	決算額	9,037 千円	
平成28年度は、石積測量367㎡、第3、4号石罫出土品の整理を実施した。また、11月に「史跡フルスト原整備委員会」を開催した。			平成27年度は、確認調査、トレンチ測量及び座標設置、地形測量及び伐採搬出、遺構空撮、芝張工事840㎡、第1、2号石罫出土品の整理を実施した。また、9月、2月に「史跡フルスト原整備委員会」を開催した。				
			H29年度目標	予算額	12,194 千円		
			平成29年度は、石積測量、第5、10、15号石罫出土品の整理を実施する予定である。				
【点検評価】							
区分	評価の説明				評価凡例		
内部評価	【成果・課題等】 史跡フルスト原遺跡整備委員会の助言等を踏まえ、確認調査、芝張工事等が実施され、着実に整備が進んでいる。年間を通してレンタカーなどで観光客も訪れ、市内の小・中・高生による校外学習などでも活用されている。また、平成32年度までに報告書を作成するため、これまでに出土した遺物の整理は計画的に進められている。					S:計画以上 (101%以上) A:計画通り (70~100%) B:ある程度 計画通り (50~69%) C:あまりうまく いっていない (30~49%) D:うまくいっ ていない (29%以下)	
	A						
外部評価	国指定文化財の史跡フルスト原遺跡には、観光客も訪れ、小中学校の総合学習にも大いに活用されている。着実に整備が進み、遺物の整理も計画的に進められていることは評価できる。 しかし、案内板は設置されているが目立たず、分かりにくいという市民の声もある。隣接する旧空港跡地には石垣市役所新庁舎も計画され、同遺跡は歴史公園ゾーンとして位置づけられている。そこで、市民はもとより観光客にも分かりやすく親切な、このエリアの将来構想を含めた案内板の設置を検討してみてもどうか。						
	A						

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】							
評価年度	平成29年度(平成28年度事業)		主管課	文化財課			
事務事業名	舟蔵第二貝塚発掘調査事業						
施策体系	主要施策	6 豊かな感性を育む文化の継承と発展[文化の継承・発展]					
	施策項目	(2) 埋蔵文化財の保存・活用					
【事業概要】							
(1)対象	市民						
(2)目的	ホテル建築に伴い舟蔵第二貝塚の記録保存を行う。						
(3)目的達成のための手段(事業内容)	発掘調査及び資料整理を行い報告書としてまとめる。						
(4)成果目標	発掘調査(250㎡)、出土品の整理、報告書(300部)						
(5)根拠法令等	文化財保護法						
【事業実績・目標】							
H28年度実績	決算額	2,850 千円		H27年度実績	決算額	— 千円	
発掘調査(250㎡)を実施し、出土品の整理後、報告書(300部)を刊行した。							
				H29年度目標	予算額	— 千円	
【点検評価】							
区分	評価の説明				評価凡例		
内部評価	【成果・課題等】 発掘調査(250㎡)を実施し、出土品の整理後、報告書(300部)を刊行した。これまで石垣市内では、11世紀前後の発掘調査例は少なかった。その様な中で、今回行われた発掘調査では、外来文化との接触を示す中国産白磁、徳之島産カムイヤキ、開元通寶などが出土した。新たに土器の製作をはじめた様相も確認され、大きな成果となった。この成果は、多くの方々に利用されることで、埋蔵文化財保護への関心、地域の歴史への理解につながるものとする。				S:計画以上(101%以上) A:計画通り(70~100%) B:ある程度計画通り(50~69%) C:あまりうまくいっていない(30~49%) D:うまくいっていない(29%以下)		
	A						
外部評価	埋蔵文化財は、本市の歴史や文化を知るうえで、重要な資源である。今回の発掘調査では、外来文化を伝える貴重な出土品も発見され、大きな成果となっている。今後とも、埋蔵文化財の保存と活用を図り、文化の継承と発展に努めていただきたい。						
	A						

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】								
評価年度	平成29年度(平成28年度事業)		主管課	市史編集課				
事務事業名	いしがきの原風景写真等デジタル化事業(沖振交)							
施策体系	主要施策	6 豊かな感性を育む文化の継承と発展[文化の継承・発展]						
	施策項目	(6) 市史等の編集発行及び関係資料の収集と情報提供						
【事業概要】								
(1)対象	市民							
(2)目的	収集した歴史的な写真・ネガフィルム等のデジタル化及びデータベース化を行う。また、インターネット上で「石垣市史デジタルアーカイブ」(仮称)として公開、活用する。							
(3)目的達成のための手段(事業内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・写真等デジタル化 写真・ネガフィルム等デジタル化及びデータベース化 ・「石垣市史デジタルアーカイブ」(仮称)構築及びインターネット上での公開 							
(4)成果目標	写真、フィルム等のデジタル化							
(5)根拠法令等	石垣市附属機関設置条例 石垣市史編集委員会規則							
【事業実績・目標】								
H28年度実績	決算額	7,020 千円		H27年度実績	決算額	7,124 千円		
<input type="checkbox"/> 写真等デジタル化作業 プリント写真・ネガフィルム等12,977点のデジタル化。 <input type="checkbox"/> 「石垣市史デジタルアーカイブス」(仮称)構築作業 デジタル化済み写真等のデータ等入力			<input type="checkbox"/> 写真等デジタル化作業 プリント写真・ネガフィルム等8,591点のデジタル化。 <input type="checkbox"/> 「石垣市史デジタルアーカイブス」(仮称)構築作業 デジタル化済み写真等のデータ等入力					
			H29年度目標	予算額	— 千円			
【点検評価】								
区分	評価の説明						評価凡例	
内部評価	【成果・課題等】 当課が所蔵する写真、フィルム等12,977点のデジタル化を行った。平成24年度から沖縄振興特別交付金を活用してすすめてきた写真、フィルム等約63,000点のデジタル化が完了した。 今後は、「石垣市史デジタルアーカイブス」(仮称)の構築作業をすすめ、早期のインターネット上での公開に努めたい。						S:計画以上(101%以上) A:計画通り(70~100%) B:ある程度計画通り(50~69%) C:あまりうまくいっていない(30~49%) D:うまくいっていない(29%以下)	
	A							
外部評価	歴史的な写真・ネガフィルム等のデジタル化及びデータベース化を、この5年間で一括交付金を活用して完成させたことを高く評価する。本市の歴史の移り変わりを記録した写真やフィルム等をデジタル化することにより、永久に保存することができ、文化の継承発展にもつながる。また、貸出もできることから、地域や公民館、学校等で教材としても大いに利活用できる。インターネット上での公開は、石垣市の歴史や文化を広くアピールする絶好の機会でもある。							
	A							

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】							
評価年度	平成29年度(平成28年度事業)		主管課	博物館			
事務事業名	喜舎場永珣資料調査事業						
施策体系	主要施策	6 豊かな感性を育む文化の継承と発展[文化の継承・発展]					
	施策項目	(7) 博物館事業の充実					
【事業概要】							
(1)対象	市民						
(2)目的	平成24年度に当館に寄贈された喜舎場永珣資料を調査し、調査報告書の作成、資料のデジタル化、資料の保存対策を目的とする。事業終了後は、広く市民に公開する。						
(3)目的達成のための手段(事業内容)	<ul style="list-style-type: none"> ○喜舎場永珣資料調査会の設置、調査会の開催 ○資料調査員による資料調査 ○資料の保存対策及びデジタル化 ○職員による資料調査 						
(4)成果目標	喜舎場永珣資料調査報告書の刊行、保存対策及びデジタル化の実施						
(5)根拠法令等	博物館法、石垣市立八重山博物館設置条例、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律						
【事業実績・目標】							
H28年度実績	決算額	2,742 千円		H27年度実績	決算額	2,799 千円	
<ul style="list-style-type: none"> ○喜舎場永珣資料調査会 4回開催 ○調査員による資料調査 ○調査ノートの写真撮影によるデジタル化 ○職員による資料調査 				<ul style="list-style-type: none"> ○喜舎場永珣資料調査会の開催 4回開催 ○資料調査員による資料調査 ○調査ノートの写真撮影によるデジタル化 ○職員による資料調査 			
				H29年度目標	予算額	3,464 千円	
				<ul style="list-style-type: none"> ○喜舎場永珣資料調査会の開催 3回開催予定 ○資料調査員による資料調査 ○古文書の写真撮影によるデジタル化 ○職員による資料調査 ○調査報告書の刊行 			
【点検評価】							
区分	評価の説明				評価凡例		
内部評価	【成果・課題等】 八重山学の先駆者である郷土史家・喜舎場永珣が所蔵していた5,455点の資料の史料調査事業である。デジタル化等保存対策を講じながら、調査員による調査を行い、事業完了後は広く市民に公開するため、平成26年度から29年度まで文化庁の補助を受けて調査事業を実施している。今後の博物館事業を充実させるために重要な事業である。				S: 計画以上 (101%以上) A: 計画通り (70~100%) B: ある程度 計画通り (50~69%) C: あまりうまく いない (30~49%) D: うまくいって いない (29%以下)		
	A						
外部評価	本市の名誉市民でもあり、八重山学の先駆者である郷土史家の喜舎場永珣の資料調査事業は、文化庁の補助を受け実施しており、高く評価したい。この調査事業は、喜舎場氏の子孫の資料提供によるもので、とりわけ、調査ノートは当時の八重山の民俗・歴史・文化を認識するうえで、貴重な資料である。今後も博物館事業充実に努めていただきたい。						
	A						

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】							
評価年度	平成29年度(平成28年度事業)		主管課	博物館			
事務事業名	資料の収集整理						
施策体系	主要施策	6 豊かな感性を育む文化の継承と発展[文化の継承・発展]					
	施策項目	(7) 博物館事業の充実					
【事業概要】							
(1)対象	博物館資料						
(2)目的	寄贈・寄託・採集等により博物館が収集した資料の保存・調査研究の充実を図る。						
(3)目的達成のための手段(事業内容)	○資料収集 ○資料調査研究						
(4)成果目標	○資料収集数						
(5)根拠法令等	博物館法、石垣市立八重山博物館設置条例						
【事業実績・目標】							
H28年度実績	決算額	44 千円		H27年度実績	決算額	9 千円	
○資料収集 民具等35点、購入図書8冊、DVD1枚 ○収集資料に係る調査研究			○資料収集 民具等41点				
			H29年度目標	予算額	69 千円		
			○資料収集 民具等40点 購入図書10冊				
【点検評価】							
区分	評価の説明				評価凡例		
内部評価	【成果・課題等】 市民等から貴重な資料の寄贈や寄託により、博物館資料を収集している。収集した資料は適切に保存を図りながら、調査研究を行い、新収蔵品展等で市民に公開している。資料収集調査研究事業は、博物館事業の核であり、収集した資料を展示等活用することにより本市の歴史や文化を内外に紹介することができる。				S:計画以上(101%以上) A:計画通り(70~100%) B:ある程度計画通り(50~69%) C:あまりうまくいっていない(30~49%) D:うまくいっていない(29%以下)		
	A						
外部評価	資料収集は調査研究にも利用され、博物館事業を充実させるための重要な事業である。八重山博物館では収集した資料を展示し、本市の歴史や文化を広く国内外に紹介している。課題は、手狭なため収集した資料の展示の工夫である。これらの展示資料をより多くの市民や観光客の目に触れさせるためにも、市長部局の観光文化課と連携し、その対策を検討していく必要がある。						
	A						

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】						
評価年度	平成29年度(平成28年度事業)	主管課	学校給食センター			
事務事業名	調理業務等民間委託業務					
施策体系	主要施策	2 自ら学ぶ意欲を育む学校教育の充実[学校教育の充実]				
	施策項目	(4) 食育の推進				
【事業概要】						
(1)対象	給食センターにおける調理業務等作業部門					
(2)目的	国の給食業務の合理化通知及び本市の行政改革大綱に基づき委託化の推進が必要でした。また、給食センターにおいても正職員と臨時職員との構成比がアンバランス(1:2)となっており、職員の偏りや労働環境などを見直し、安定して安心安全な学校給食の提供を行うため。					
(3)目的達成のための手段(事業内容)	給食センターで行われている、食材の下処理、調理、配缶、配送、回収、洗浄、施設清掃等の作業部門のみを民間に委託するもので、献立作成、食材の入札・調達・検収、給食費の管理等の給食の根幹に関する事項については、これまでと同様に給食の実施者である本市が責任を持って実施いたします。また、委託業者の選定については、経費の面から選定する競争入札ではなく、業者の給食に対する考えや実績・信頼性、安全衛生面、職員体制面等を聞いて総合的に選定する、プロポーザル(企画提案方式)により、選定委員会による審査を行い、選定します。					
(4)成果目標	平成29年8月からの業務委託契約予定に向けて、計画通りに次年度早期(平成29年5月予定)の委託業者決定を行うべく、準備作業を進める。					
(5)根拠法令等	「学校給食の運営の合理化について」(昭和60年文部省通達)等、「第6次石垣市行政改革大綱」(平成22年6月策定)、「第4次石垣市定員適正化計画」(平成23年制定)等					
【事業実績・目標】						
H28年度実績	決算額	0 千円	H27年度実績	決算額	0 千円	
<ul style="list-style-type: none"> ・計画事業の推進のため、予算なし。 ・「石垣市立学校給食センター調理業務等民間委託基本方針」策定 ・調理業務等推進検討委員会開催(5回開催) ・民間委託関係課長調整会議(4回開催) ・保護者への説明会(2回開催) ・委託事業予定業者等への説明会の実施 		<table border="1"> <tr> <td>H29年度目標</td> <td>予算額</td> <td>85,895 千円</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・委託業者選定委員会(2回開催) ・委託業者選定 ・予定委託総額(371,409千円、平成29年8月～平成32年7月) 		H29年度目標	予算額	85,895 千円
H29年度目標	予算額	85,895 千円				
【点検評価】						
区分	評価の説明				評価凡例	
内部評価	【成果・課題等】 計画通りに事業を推進し、次年度の業者選定に向けての諸準備が整った。また、保護者や関係者へも丁寧な説明を実施し、特に異論等無くスムーズに推進できた。				S:計画以上(101%以上) A:計画通り(70～100%) B:ある程度計画通り(50～69%) C:あまりうまくいっていない(30～49%) D:うまくいっていない(29%以下)	
	A					
外部評価	本市の長年の懸案事項であった調理業務等が民間委託できたことは、高く評価したい。毎年、施政方針にも掲げられている「民間でできることは民間で」をまさに実現した具体例である。民間委託は、雇用等も含め、地域活性化にも大きく繋がるものと期待している。					
	A					

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】							
評価年度	平成29年度(平成28年度事業)		主管課	学校給食センター			
事務事業名	給食調理費						
施策体系	主要施策	2 自ら学ぶ意欲を育む学校教育の充実[学校教育の充実]					
	施策項目	(4) 食育の推進					
【事業概要】							
(1)対象	給食調理の経常経費						
(2)目的	給食の調理業務等を実施するため。						
(3)目的達成のための手段(事業内容)	給食調理等を実施するための、調理補助員(賃金職員)の person 費及び調理における必要経費						
(4)成果目標	安心安全な給食の提供を実施する。						
(5)根拠法令等	学校給食法、食育基本法						
【事業実績・目標】							
H28年度実績	決算額	27,606 千円		H27年度実績	決算額	27,543 千円	
・賃金職員の夏休み期間中における職場を確保したことにより、賃金職員の処遇改善に繋がり、二学期からの賃金職員数が確保できた。そのことによって、職場の労働環境が整い、安心安全な給食の提供ができた。				・安全安心な給食の提供のための賃金職員の確保ができた			
				H29年度目標	予算額	12,677 千円	
				・平成29年8月からの業務一部委託により、賃金職員の person 費及び消耗品が受託業者からの支払いとなるため、給食調理費は減となります。			
【点検評価】							
区分	評価の説明				評価凡例		
内部評価	【成果・課題等】 ・賃金職員の夏休み期間中における職場を確保したことにより、賃金職員の処遇改善に繋がり、二学期からの賃金職員数が確保できた。そのことによって、職場の労働環境が整い、安心安全な給食の提供ができた。				S: 計画以上 (101%以上) A: 計画通り (70~100%) B: ある程度 計画通り (50~69%) C: あまりうまく いない (30~49%) D: うまく いない (29%以下)		
	S						
外部評価	これまで賃金職員は小中学校が夏休み期間中、雇用契約が切れ退職状態で、再度2学期から新たに雇用契約を結んでおり、雇用が不安定な状況であった。この状況を打破するために、賃金職員を教育委員会内で引き続き夏休み期間に継続雇用し、雇用の確保を図ることができた。このことは、職場の労働環境の改善に繋がり、高く評価できる。						
	A						

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】											
評価年度	平成29年度(平成28年度事業)		主管課	図書館							
事務事業名	乳幼児期における読書環境の充実を図る事業（だっこDEおはなし会）										
施策体系	主要施策	5 家庭・地域の教育機能の充実[社会教育の充実]									
	施策項目	(7) 子どもの読書活動への支援・家読の推進									
【事業概要】											
(1)対象	1歳までの乳幼児とその保護者。										
(2)目的	子どもの発達段階に応じた読書支援を行うため、乳児とその保護者を対象に読み聞かせ会を実施し、幼児期における読書要求の喚起に発展させることを目的とする。										
(3)目的達成のための手段(事業内容)	読み聞かせ会や手遊び、子育て本の紹介を毎月第3水曜日午前11時から30分間の日程で開催。										
(4)成果目標	1回あたりの参加目標数:親子6組										
(5)根拠法令等	石垣市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則第5条5号、石垣市第2次子どもの読書活動推進計画										
【事業実績・目標】											
H28年度実績	決算額	0 千円		H27年度実績	決算額	- 千円					
<input type="checkbox"/> 開催日時 午前11時～11時30分 平成28年9月21日、10月19日、11月9日、12月21日 平成29年1月18日、2月15日、3月15日 <input type="checkbox"/> 申し込み方法:事前申し込み <input type="checkbox"/> 広報 図書館ホームページ、図書館Facebook、館内チラシ配布、3・4ヶ月乳児対象のブックスタートにてチラシ配布 <input type="checkbox"/> 参加人数 平成28年9月:16組 10月:2組 11月:7組 12月:10組 平成29年1月:10組 2月:7組 3月:11組 1月平均:9組				だっこDEおはなし会は平成28年9月から実施。 <table border="1"> <tr> <td>H29年度目標</td> <td>予算額</td> <td colspan="2">0 千円</td> </tr> </table> <input type="checkbox"/> H29から月齢6ヶ月以下・以上の2グループに分けて開催 <input type="checkbox"/> 開催日時:毎月第3水曜日午前10時15分～11時30分 <input type="checkbox"/> 申し込み:事前申し込み <input type="checkbox"/> 広報:図書館ホームページ、図書館Facebook、チラシ配布 <input type="checkbox"/> 参加目標人数 月齢6ヶ月以下:6人、6ヶ月以上:6人				H29年度目標	予算額	0 千円	
H29年度目標	予算額	0 千円									
【点検評価】											
区分	評価の説明				評価凡例						
内部評価	【成果・課題等】 平成28年度から始めた「だっこDEおはなし会」だが、乳幼児の保護者の反応は大変好評で、申し込み受付を始めると1～2日で定員に達する。また、この会に参加したことをきっかけに保護者の図書館児童室利用へと繋がり、発達段階に応じた読書支援となっている。				S:計画以上(101%以上) A:計画通り(70～100%) B:ある程度計画通り(50～69%) C:あまりうまくいっていない(30～49%) D:うまくいっていない(29%以下)						
外部評価	親子でのお話し会は大変すばらしい企画で、読書活動推進への努力が功を奏している。乳幼児期から読み聞かせや絵本に親しむことは、情操教育の面でもとても良いことである。保護者にも大変好評ということもあるので、今後も継続し、広報誌等でも多くの親子が参加できる機会をつくっていただきたい。										

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】							
評価年度	平成29年度(平成28年度事業)		主管課	図書館			
事務事業名	耳学問の会						
施策体系	主要施策	5 家庭・地域の教育機能の充実[社会教育の充実]					
	施策項目	(1) 社会教育諸学級の開設					
【事業概要】							
(1)対象	一般市民						
(2)目的	八重山に伝わる古文書を読み解き、歴史・民俗への理解を深めることを目的とする。						
(3)目的達成のための手段(事業内容)	『石垣市史叢書22参遺状(喜舎場永珣旧蔵史料)2』をテキストに用い、毎月第2・第4土曜日に2時間の講習を行う。						
(4)成果目標	<input type="checkbox"/> 全19回開催 <input type="checkbox"/> 募集人数 25人						
(5)根拠法令等	石垣市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則第5条5号						
【事業実績・目標】							
H28年度実績	決算額	0 千円		H27年度実績	決算額	0 千円	
<input type="checkbox"/> 平成28年6月11日から平成29年3月25日まで全17回開催 ※講師都合により2回休講 <input type="checkbox"/> 申し込み人数:31人 <input type="checkbox"/> 出席状況:延べ人数220人 1回あたり平均13人 <input type="checkbox"/> テキストの進捗:『石垣市史叢書22』70頁まで終了 <input type="checkbox"/> 広報:図書館ホームページ、Facebook、新聞『誘い』掲載			<input type="checkbox"/> 毎月第2・第4土曜日午後2時半～午後4時半全19回開催 <input type="checkbox"/> 出席状況:延べ人数 239人 1回あたり平均12.5人 <input type="checkbox"/> テキスト:『石垣市史叢書21参遺状(喜舎場永珣旧蔵史料)1』 <input type="checkbox"/> 広報:図書館ホームページ、Facebook、新聞『誘い』掲載			H29年度目標 予算額 168 千円	
			<input type="checkbox"/> 講師謝礼金4千円×2時間×21回=168千円 <input type="checkbox"/> 毎月第2・第4土曜日午後2時半～午後4時半全21回開催 <input type="checkbox"/> 募集人数25名 <input type="checkbox"/> テキストに『石垣市史叢書22参遺状(喜舎場永珣旧蔵史料)2』71頁～ <input type="checkbox"/> 図書館ホームページ、Facebook、新聞『誘い』掲載で広報				
【点検評価】							
区分	評価の説明				評価凡例		
内部評価	【成果・課題等】 ・平成14年度から続いている講座で、申し込み受付を始めるとその日の内に定員に達してしまう程、毎回好評の講座である。これまで課題としていた講師謝礼金も平成29年には予算が確保でき、基盤が整ってきている。				S:計画以上(101%以上) A:計画通り(70～100%) B:ある程度計画通り(50～69%) C:あまりうまくいっていない(30～49%) D:うまくいっていない(29%以下)		
	A						
外部評価	この耳学問は、古文書を読み解き、歴史・民俗への理解を深めるもので、長年にわたり継続実施してきた努力がうかがえる。講師には、古文書に長けた人材があたり、まさに地域の社会資源を活用した本市ならではの創意工夫を凝らした企画である。高く評価したい。今後も継続実施が望まれる。						
	A						

3 外部評価委員による総評

知念 修

昨年に引き続き外部評価委員として、教育事務点検評価を行う機会を得た。

平成 29 年度教育事務点検評価対象 20 事業についての総評を、以下、所感を含めながら述べてみたい。

はじめに、一括交付金を活用した新規事業の教員採用試験対策事業は、多くの合格者を輩出し、即効果が表れたことは高く評価したい。今後も教員の人材育成を図っていく必要がある。また、石垣市小学生・中学生国内外交流事業も一括交付金を活用した新規事業で、国内外の児童生徒と交流し、視野を広げ将来の夢を持たせる等、人材育成を図るすばらしい企画である。

次に、冠鷺プロジェクトは一括交付金を活用し、家庭学習の習慣化を図り、着実に学力向上へ繋げている。また、同じく一括交付金を活用したいしがきの原風景写真等デジタル化事業は、本市の歴史の移り変わりを記録した写真やフィルムのデジタル化事業で、永久保存することで文化の継承発展にも繋がる。

この他にも今回の新規事業には、ストレスチェック、いじめ問題対策費、舟蔵第二貝塚発掘調査、調理業務等民間委託業務、乳幼児期における読書環境の充実を図る事業（だっこDEおはなし会）がある。

とりわけ、調理業務等民間委託業務は、本市の長年の懸案事項であり、地域の活性化にも繋がるものと期待できる。また、だっこDEおはなし会は、読み聞かせをとおして親子の絆を深めるすばらしい企画で、ぜひ多くの親子が参加できる機会をつくっていただきたい。

継続事業には、児童生徒援助費、学校図書館図書整備費（小中）、浄化槽水質検査費（幼小中）、特別支援教育支援事業、情報教育充実事業、青少年生活指導事業、史跡フルスト原遺跡保存修理費、喜舎場永珣資料調査事業、資料の収集整理、給食調理費、耳学問の会がある。いずれの事業も教育委員会の重要な業務である。特に、児童生徒の安心・安全のためにも、浄化槽水質検査等、学校の環境整備には、しっかり対応していただきたい。また、史跡フルスト原遺跡は、旧空港跡地利用計画において、石垣市役所新庁舎に隣接する歴史公園ゾーンとしての位置づけをされていることから、案内板等へも表示した方がよいと思う。

結びに、今回、教育委員会各課のヒアリングをとおして感じたことは、あらゆる事業に創意工夫が凝らされている、ということである。特に、施政方針で掲げられている「民間でできることは民間で」を実現可能にした調理業務等民間委託業務は、画期的なものである。今後とも、より充実した教育行政の推進を期待する。

昨年に引き続き石垣市教育事務点検評価の外部評価委員の委嘱を受け、責任の重大さを痛感するとともに、このような機会を与えてくださったことに感謝します。

石垣市教育委員会は「創造性・国際性に富む人材の育成と生涯学習の推進」を教育目標に掲げ、その目標を達成する施策項目に基づき事業を行っています。

冠鷲プロジェクト（地域・家庭支援事業）は、本市児童・生徒の学力向上を図ることを目的として、各団体が学習支援等学習時間を確保し学力向上へ繋げていることは高く評価します。更に行政・家庭・地域・学校と緊密な連携を図り、本市一丸となって家庭での学習環境を整え、家庭学習の定着を図る取り組みを検討する必要があると痛感しました。

また、石垣市小学生・中学生国内外交流事業は、視野を広げ将来への夢と希望を持たせ、「創造性・国際性に富む人材育成」を図る素晴らしい事業です。ぜひ今後も継続してほしいと思います。

情報教育事業では、効率的に整備計画を立て情報教育の充実が図られていることは高く評価できます。更にICT機器等修理費の予算確保に努め今後とも情報教育環境の整備に邁進してほしいと思います。

教員採用試験対策事業は、即効果が表れ多くの地元出身合格者を輩出できたことは高く評価できます。今後とも継続実施し、人材育成に努めてほしいです。

ストレスチェックは、どこの職場でも必要です。快適な職場環境で最大限に能力を発揮し、効率的に仕事をしていくワークライフバランスが求められています。特に学校現場では、安心できる職場環境で心身ともに健康な教職員が児童・生徒と向き合い人材育成に努めてほしいです。そのためには、より多くの教職員へこの制度の周知を図り、メンタルヘルスの予防に努めていただきたいと思います。

児童生徒援助費は、本当に必要な保護者が申請しているか等学校・関係機関と密接な連携をとりながら制度の周知を図り、申請率向上に努めてほしいと思います。そのためには、事務手続きの簡素化等保護者が申請しやすい状況や支援体制も検討していく必要があると思います。

文化財課、市史編集課、博物館、学校給食センターの事業も計画通り推進でき、高く評価します。図書館も予算の無い中、乳幼児期における読書環境の充実を図る事業（だっこDEおはなし会）は、保護者にも大変好評で高く評価できます。

今回の教育事務点検評価で、どの事業も献身的に取り組んでいらっしゃる様子が伝わりました。教育委員会の皆様、快適な職場環境で「人間性豊かな人材の育成」を目指して更なる研鑽を積むことを期待いたします。

(趣旨)

第 1 条 この要綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和 31 年法律第 162 号)第 26 条に規定する教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等(以下「教育事務点検評価」という。)を行うことについて必要な事項を定めるものとする。

(教育事務点検評価委員会)

第 2 条 教育事務点検評価は、教育委員会を主体とし、点検及び評価の業務を的確かつ円滑に執行するため、教育事務点検評価委員会(以下「点検評価委員会」という。)を置く。

2 点検評価委員会は、教育部長、石垣市教育委員会事務局組織規則(平成 15 年石垣市教育委員会告示第 10 号)第 5 条に定める事務局の課の長、博物館長、学校給食センター所長及び図書館長をもって構成し、委員長に教育部長、副委員長に総務課長をもって充てる。

3 委員長は、点検評価委員会を代表し、その事務を総理する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、その事務を代理する。

5 点検評価委員会の運営その他必要な事項は、委員長が別に定める。

(点検及び評価する事務)

第 3 条 教育事務点検評価で点検及び評価する事務は、教育委員会の権限に属する事務(教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務を含む。)で、前年度に執行されたもののうちから点検評価委員会が抽出した事務とする。

(点検及び評価の時期)

第 4 条 教育事務点検評価は、前年度決算後速やかに実施するものとする。

(点検及び評価の方法)

第 5 条 教育事務点検評価は、第 3 条の規定により抽出した事務を、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める組織が行うものとする。

(1) 内部評価 点検評価委員会

(2) 外部評価 教育事務点検評価のために置かれる外部評価委員会

(外部評価委員会の設置)

第 6 条 教育委員会は、事務の点検評価に関し、その客観性の確保を図るため、教育に関し学識経験を有する者の知見を活用するものとする。

2 前項の学識経験を有する者の知見を活用するため、外部評価委員会を設置する。

3 外部評価委員会は、2 人の委員で組織する。

4 外部評価委員は、次に定める者の中から教育委員会が委嘱する。

(1) 学識経験者

(2) その他教育委員会が必要と認めた者

5 外部評価委員の任期は、委嘱の日から委嘱の日の属する年度の末日までとする。ただし、再任を妨げない。

6 外部評価委員の報酬は、石垣市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例(昭和 47 年石垣市条例第 70 号)別表に掲げる法又は条例による審議会等の委員に委嘱された者の報酬額に準じるものとする。

(報告書の作成)

第7条 教育事務点検評価の結果に関する報告書(以下「報告書」という。)は、点検評価委員会が作成し、前条に規定する外部評価委員会の意見を付して、教育長が教育委員会に付議するものとする。

(報告書の提出及び公表)

第8条 報告書の議会への提出は、12月定例会に行うものとする。

2 報告書は、前項の提出を行った後、速やかに石垣市のインターネットホームページで公表するものとする。

(結果の活用)

第9条 教育事務点検評価の結果は、教育行政の計画立案、事務の改善、効率化等に活用するものとする。

(その他)

第10条 この要綱に定めるもののほか、教育事務点検評価の業務に必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

この要綱は、公布の日から施行する。

附 則(平成22年教委告示第10号)

この要綱は、公布の日から施行する。

附 則(平成25年教委告示第3号)

この要綱は、平成25年4月1日から施行する。

附 則(平成26年教委告示第18号)

この要綱は、公布の日から施行する。

附 則(平成27年教委告示第5号)

この要綱は、平成27年4月1日から施行する。

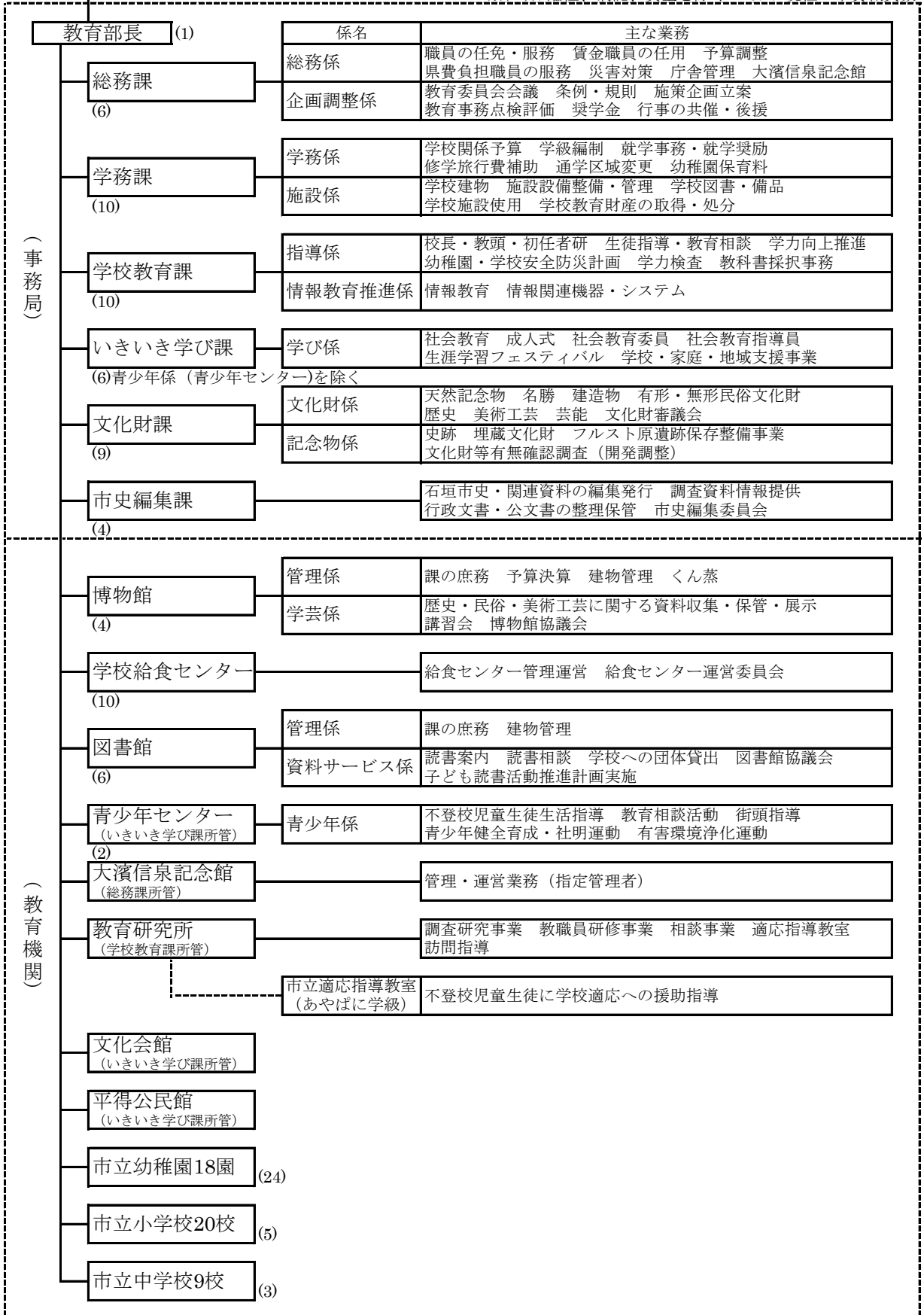
附 則(平成28年教委告示第20号)

この要綱は、公布の日から施行する。

平成29年度 石垣市教育委員会組織機構図

教育委員会 教育長と4人の委員で構成
 教育長

※()は臨任、嘱託、賃金を除くH29.4.1現在の市費職員数



平成 29 年度
石垣市教育事務点検評価報告書
(平成 28 年度事業対象)

平成 29 年 11 月発行
石垣市教育委員会
沖縄県石垣市美崎町 16 番地 6
TEL 0980-82-2604
FAX 0980-82-0294
